

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

謹賀新年



新年、
明けまし
ておめで
とござ

います。輝かしい新年をお
迎えることと、心よりお喜
び申し上げます。

さて昨年は、念願の政権
交代の実現、佐々木隆博代
議士の農林水産大臣政務官
就任、さらには、牧野勇司
氏の士別市長就任と、政治

夢の実現に 近道なし

夢と希望を持って、元気なふるさとづくりを...



「北口ゆうこう道議と語 る新春の集い」のご案内

輝かしい新年を迎え、皆様い
かがお過ごしでしょうか。

さて、「北口道議と語る新春
の集い」を下記のとおり計画い
たしました。多くの皆様のご来
場をお待ちしています。

とき：1月30日(土)18時

ところ：士別グランドホテル

会費：2,500円

主催：北口雄幸士別市後援会

【会券のお求め先】

北口事務所(士別市東3条北7丁目)

電話 0165-22-3100

FAX0165-23-4356

の世界ではとても嬉しい話
題が続いた1年でした。

一方農業では、7月の長

雨日照不足の影響を受け、

農家の皆様のご苦勞が報

われない結果となり、暗渠

などの基盤整備の必要性も

感じたところです。

さらに、依然として厳しい

「医食農源」でふるさとづくりを

昨年は、2期目の議席を与
えていただき、憲政史上初め
て選挙による「政権交代」を
現実。約束したマニフェスト
実現にしっかりと取り組みます。



であります。

元気な郷土に

ふるさと

このような状況を打開す
るキーワードは、「安全・安
心・環境」と思っており、
民主党が掲げた「地域主権」
によって、もつとふるさと
の皆さんが元気を取り戻せ
るような仕組みづくりを進
めていかなければなりません。
今年こそ、皆さんにと
って素晴らしい1年となり
ますよう、願っています。

ふるさとの「食材」が健全
でなければ、私たちの「健康」
を創ることはできません。ま
さしく「医食農源」であり、
その食を提供する政務官に
就任し、より責任の重さを痛
感しているところです。

私の政治の原点である「現
場の声」「生活第一」「ふるさ
との元気」を実現するため、
全力で取り組む決意です。

今年こそ、よりよい年であ
りますよう祈念します。

農林水産大臣政務官

衆議院議員 **佐々木隆博**

第4回定例道議会報告(11月26日、12月10日)

政権交代を認識せず

鳩山政権は、自民党と中央省庁や天下り団体、各業界団体が強固に結びつき作り上げてきた、予算や行財政運営の抜本見直しに取り組んでいきます。

しかし、知事は、国の事業仕分けについて、「透明性確保は評価する」としつつも「対象事業選定や評価基準が明確でない」と批判。会期中に、仕分け結果の全



決算特別委員会で道立病院の経営状況を質す北口道議(11月6日)

面見直しを求める要望を提出、根拠が薄弱な仕分け結果の影響試算額を公表し、

影響の大きさを強調するなど、政権交代にもかかわらず、自民政権の前例を踏襲すべきとの趣旨の答弁を重ね、財源も施策や事業の内容も国依存で行財政を運営してきた高橋知事が政権交

地域主権の実現を

代を受け止めていない対応ぶりが示されました。

道内分権に関しては、国に、法的な裏付けを持つ協議の場を求めている知事は、道と市町村間でも、同様な協議の場を設けるべきと主張。知事は、「あらゆる機会をとらえ、これまで以上に連携を強める」と答弁しましたが、道の都合による縦

北口道議、決算特別委員会で

道立病院、関与団体と再就職を質疑

平成21年決算特別委員会で北口道議は、道立病院問題、関与団体と職員の再就職について質疑しました。

道立病院の経営状況では653億8千万円の累積欠損金があり、372億6千万円の長期債務などにに対し、改革プランの確実な実行なども含め、病院勤務の経験を生かした質問を行いました。

また、関与団体について、団体数は減少しているもの

割り型で数多くの組織が相互連携もなく、権限も不明確なまま設置されている現状には、市町村等からの不満も強く、地域主権実現のためにも、北海道行政基本条例見直し等の中で早急に検討すべきです。

冷湿害対策で支援

道は、冷湿害対策の支援として、利子補給措置を実施し、農業経営の維持安定を図ることとしました。

- 限度額 「農業収入・農業支出」又は、350万円
- 利子助成額 0.9%の範囲で市町村が決定。道はその6割を市町村へ補助
- 利子助成期間 5年以内

採択された意見書・決議

経済・金融不安から国民生活を守り、社会的セーフティネットの拡充を求める意見書
保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書
「新過疎法」の制定促進を求める意見書
エコポイント制度並びにエコカー補助金の維持実施を求める意見書
農山漁村の多面的機能を維持する施策

の推進を求める意見書
保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書
私立専修学校に対する財源措置に関する意見書
戦没者の遺骨収集の完了を求める意見書
食料自給率の向上と食の安全安心の確保に向けた食品表示制度の見直しに関する意見書
北海道農業の持続的な発展に資する戸別所得補償制度の創設を求める意見書
「コケイン症候群」の難治性疾患克服研究事業調査研究対象疾患及び小児慢性特定疾患の難病指定を求める意見書
電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書
「事業仕分け」による廃止等事業の見直しを求める意見書
国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書
自衛隊の体制維持を求める意見書
社会保険庁処分者の日本年金機構への再雇用を認めないよう求める意見書
鳩山総理の親族からの資金供与について説明責任を果たすよう求める決議

なお、印の5本は、自民党が、政権批判のため地方議会に大量の意見書等提出を求めたものであり、党派としては、政権公約実現、新年度予算編成に向け、従来政策の点検作業や見直し議論等が行われる中での意見書提出は拙速であるとして反対しました。

写真で振り返る北口道議の活動記録 10月、12月



朝日町記念植樹に参加(10/3)



林活議連で東神楽町「健誠社」を視察(10/1)



剣淵町西岡ダム完成式典でご挨拶(10/16)



道北ドクターヘリ就航式(10/11)



稲村道議(左)と佐々木政務官を訪問(11/13)



士別山岳会50周年記念式典(10/18)



ふれあい交流館の落成式典(11/28)



民主党会派でサンルダムを現地調査(11/26)



伊藤喜代志比布町長を激励(11/28)

牧野市長と市民の集いで 締めのお音頭(11/29)



北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介いたします。(10月~12月分)

10月26日【介助犬視察・1日目】

今年第2回定例道議会で質問した「介助犬」



愛知県の介助犬育成訓練施設を視察

の育成・訓練施設の視察調査のため、愛知県長久手町の介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」を訪ねた(中略) 今日、シンシアの丘を見せていただき、日本介助犬協会の事務局長から、介助犬育成・訓練に関する苦労話などを聞かせ

てもらい、とても参考になった。私も理解していたつもりだったが、介助犬を必要とするユーザーの障がい具合は異なり、どのような作業をサポートするかによって訓練も違い、そのため医師をはじめとする作業療法士や理学療法士などとの連携が必要だとお話しいただいた。今後、北海道でどのように育成・訓練施設ができるか、これからが議論のスタートだが、様々な皆さんと議論しながらより良い施設を目指したい。

11月17日【農政懇談会】

全上川農民連盟宗谷線ブ

ロック協議会(上山信男ブロック議長)の研修会に参加させていただき、長雨日照不足による農作物被害における北海道の対策について報告した。宗谷線ブロック協議会は、和寒町、剣淵町、土別市、名寄市の8農民連盟で組織し、年に数度の研修会や交流会を開催し、私もその都度ご案内をいただきお話しのお機会をいただ



宗谷線ブロック協議会で農政懇談会

いている。今回は、今年度の長雨低温日照不足による農作物被害対策、戸別所得補償制度について研修がなされ、私からは北海道農業における被害の実態とその支援の内容について報告した。その後、戸別所得補償制度については山居忠彰全上川農連執事長から今の段階における内容について報告し、参加者からは「民主党政権になり、今までよりも良くなる制度になってほしい」との意見が出され、今後中央要請時にしっかりと伝えることを確認しあった。

12月5日【旭日小授章受

章を祝う会】

武市様は、昭和14年生まれの70歳で、



受章した武市昇氏と記念撮影

朝日町南朝日で農業に従事しながら34歳の若さで朝日町議会議員に当選。以来6期24年務められ、2期8年間朝日町長として、朝日町の発展にご尽力された。特に、土別市との合併時は協議会の副会長として、多くの課題解決のため奔走され、合併という大事業を成し遂げられた。今回、このようなご功績が認められ、旭日小授章を受章された。今日の祝う会では、発起人を代表して長南尚氏がご挨拶され、その後牧野勇司土別市長、佐々木隆博代議士らが祝辞を述べられた。参加者全員からの記念品贈呈のあと登壇した武市様は、「今日

まで地域の皆さんにお支えいただき、70年の人生に一片の悔いもなく仕事をする事ができ感謝している。皆さんおひとりお一人にお礼を言いたい。記念品なども出さなければならぬがその分を土別市に寄附したい」と、牧野市長に対しご寄付をされた。牧野市長も「大切に使用してもらいます」とお話しされた。

【つづき】

昨年の年頭の短冊には「願えば夢叶う」と書き、今年には「夢の実現に近道なし」と書かせてもらった。政権交代に半世紀以上かかり、牧野氏も土別市長就任に約20年かかった。これらは、「願えば夢叶う」ことが証明された訳だが、諦めないで活動を続けたからこそ実現できたことだ。人は弱いものである。夢も簡単に実現できない。だから諦めてしまおう。しかし、夢を諦めないで、遠回りしてでも願っていることが必要だと思う。今はとても厳しい経済状況だ。夢を持ち続けることは並大抵ではない。しかし、夢を諦めないで持ち続ける事こそ、今求められているのではないだろうか。(ゆうこう)